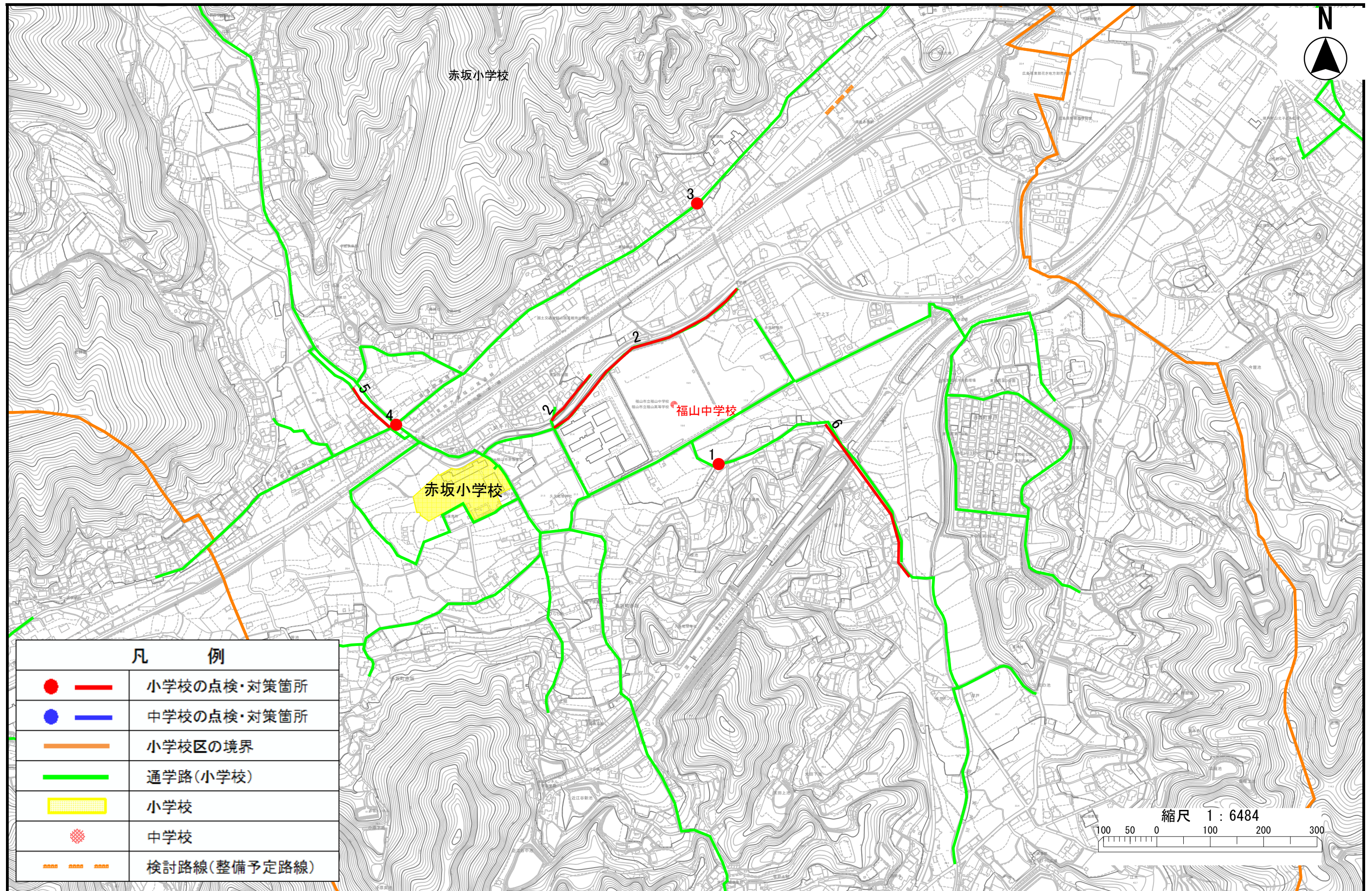
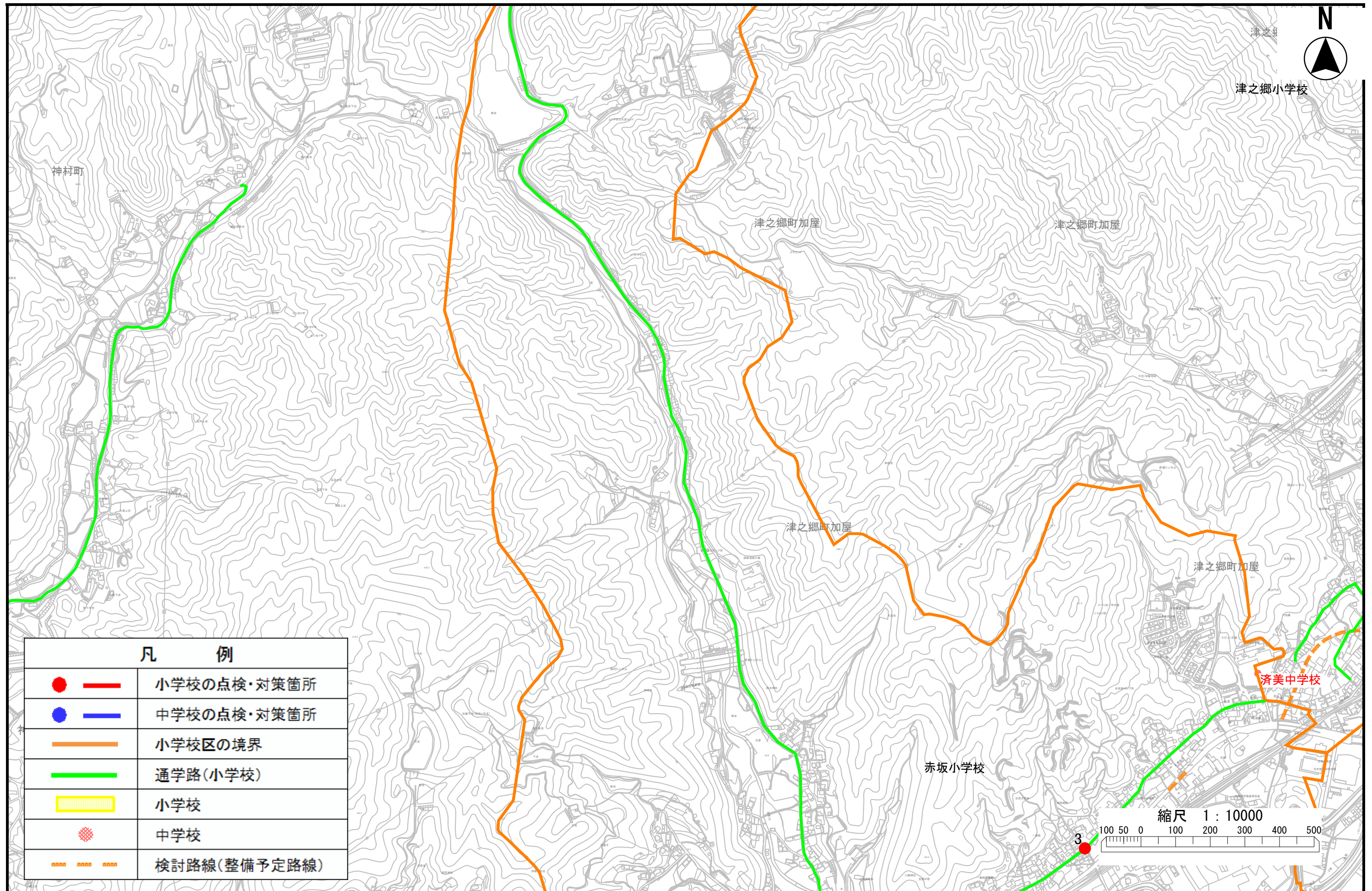


赤坂小学校(1)



赤坂小学校(2)



学校名	位置図 番号	通学路 点検年度	危険内容	通学路対策予定内容/できない理由	対策状況 ステータス	備考
赤坂小	1	2022	今年度、登校中に児童が転落しけがをしている。 付き添っていただいた方からは、転落防止柵の設置が必要ではないか、との意見をいただいている。	【市】 転落防止柵の設置	対策内容決定	
赤坂小	2	2022	下校中に、低学年児童らが河川敷の斜面に入り、そのまま滑り落ちた。 学校では、児童らに川に近づかないよう指導しているが、危険と思われる区間だけでも、柵を設置する等の措置を行ったほうが良い、と進言を受けている。	【市】 外側線の修復 【学校・地域】対応中 通学路の変更	対応中	
赤坂小	3	2022	児童が、登校中に足を滑らせて溝に落下し、頭を打ったため、病院を受診している。 道幅が狭く、車両の交通量も多いため、登下校では気を付けるように、児童へ指導を行っている。 また、見守りボランティアの方が登校指導をしているが、ハード面での対策の進言を受けている。	【県】 対策案を検討 →【学校・地域】対応中 通学路の変更	対応中	【県】 当該箇所とは反対車線を通学路に変更すること
赤坂小	4	2022	県道御幸松永線と赤坂幹線の交差点で、山陽本線北側全地域の児童が一斉に集う場所にあたり、尚且つ通勤車両が多く、河手川に児童が転落の恐れあり。 (過去に落下事故あり) 見守りボランティアの方に立ってもらっているが、特に雨天時は、横断することも困難になる状況。	【市】 要望書を受けて検討	検討中	
赤坂小	5	2022	児童が河川に転落し、怪我をする恐れがある。	【市】 転落防止柵の設置	対策内容決定	
赤坂小	6	2023	朝夕の時間帯に交通量が多く、スピードを出す車も多く、児童と車両が近接して危険である。	【市】 路側帯のカラー化 路面標示の設置	対策内容決定	2023年度随時点検